

「斜め X 線 CT 検査装置」に係る説明会の開催について

1 主旨

公益財団法人 JKA の 2025 年度 公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業により、生産技術アカデミーに「斜め X 線 CT 検査装置」が導入されました。この装置は、試料を移動させながら透視像を連続撮影することで試料の高精細な二次元・三次元画像を撮影でき、試料の内部構造、空隙、欠陥、異物等を非破壊で検出することができます。このことから、製造工程における品質管理や製品のクレーム対応等に利用でき、製造業全般だけでなく、農産品や水産製品等、企業の皆様の生産活動に役立つと期待していることから、機器及び活用事例等を紹介するために、説明会を開催します。

2 装置概要

〈本体〉

- ・X 線管電圧 : 80～160kV、X 線管電流 : 50 又は 100 μ A
- ・透過能力 : 鋼鉄 : 4mm、アルミ : 10mm
- ・X 線検出器 : フラットパネル検出器 : 1278×2272pixel
- ・分解能 : 透過像 : 1 μ m 斜め CT : 10 μ m
- ・最大搭載ワークサイズ :
 - 透視・斜め CT : 幅 450×奥行 400×高さ 100mm、5 Kg*
 - 直交 CT : 直径 30×長さ 150mm, 0.2Kg



* カーボンボードに載せるため、1Kg 超の場合は事前にご相談ください。

3 日時

令和 8 (2026) 年 1 月 13 日 (火) 10:30 ~ 12:00 (午後は個別相談会を行います)

4 場所

生産技術アカデミー 2 階研修室

(〒739-0046 東広島市鏡山 3 丁目 13 番 26 号 広島テクノプラザ内)

5 スケジュール

時刻	タイトル	担当者・講師	
10:30 ～10:35	開催挨拶	生産技術アカデミー	支所長 宮野 忠文
10:35 ～10:50	生産技術アカデミーの技術支援メニュー紹介		技術支援担当部長 池田 裕朗
10:50 ～11:05	東広島地区の三次元観察装置と活用事例の紹介		製品設計研究部主任研究員 田邊 栄司
11:05 ～11:35	斜め CT・直交 CT ユニットの撮影原理と活用事例	株式会社島津製作所 分析計測事業部 Solutions COE マテリアル インフラソリューションユニット マテリアル_インフラ G 橋本 繼之助 様	
昼休憩			
13:00 ～17:00	個別相談会 個別にお持込みいただいた試料を観察します (1 社・グループあたり 25 分を目安として先着順に時間帯を割り当てます。開始時刻については、それぞれ事前にお知らせします。)		

6 定員

- ・座学・見学（午前）25名
- ・個別相談会（午後）8社・グループ

7 注意事項等

- ・午前のみ又は午後のみの参加も可能です。
- ・個別相談会を希望される場合は、お持込みされる試料については、材質・形状・厚さを詳しく記載してください。X線を透過できないものについては、試料の変更をお願いする場合があります。
- ・午後についてはご希望の時刻にそえない場合があります。予めご了承ください。
- ・同日以降、試料お持込みでの見学を随時受け付けます。

8 申込方法

令和8年1月7日(水)までに、生産技術アカデミーのホームページからお申込みください。

スマートフォンの場合は、右の二次元コードからアクセス可能です。
(応募多数の場合は、〆切前に申込を終了する場合がございます。)



9 お問合せ先

生産技術アカデミー 製品設計研究部（担当者 兵藤・田邊）

電話 082-420-0540

FAX 082-420-0539

メール sgaseihin@pref.hiroshima.lg.jp



斜めX線CT検査装置は、公益財団法人JKAの2025年度
公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業により、導入しました。